

令和7年度 香川の教育づくり発表会 発表概要

○道徳教育地域支援委託事業

学校や地域の実情に合わせて学校の道徳教育の指導内容が児童生徒の日常生活に生かされるようにするために、道徳教育の質的転換に向けた指導方法の改善、道徳教育に係る評価の在り方等について研究推進しています。

1	高松市立牟礼中学校
	【研究主題】 なかまとともに豊かな心を育む道徳教育～自己を見つめ、互いに高め合う授業の工夫～ 他者との対話を通して自分と向き合い、自分の良さに気づき、互いに高めあえる道徳の授業を目指して研究実践を積み重ねています。また、地域に愛される学校として、総合的な学習の時間における「ふるさと学習」との関連性を高め、郷土を愛する心の醸成に努めました。効率的な校内研修の研究にも取り組んでいますので、本発表会ではその成果と課題についても紹介したいと考えています。

○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現推進モデル校事業

本県の子どもたちの確かな学力を育成するために、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実の実現に向け、「環境設定」「学びがいのある課題」「自己選択・自己決定」「学びの過程の振り返り」の授業改善に向けた取り組みをしています。

2	高松市立仏生山小学校
	【研究主題】 子どもとともに「楽しく 分かる・できる」国語科授業の創造 ～主体性と協働性を高め、学びの系統性を重視した授業づくり～ 子どもとともに、楽しくて、分かる・できる授業を目指し、本校の課題である国語科授業に焦点を絞り、実践を積み重ねてきました。学びの系統性を重視しながら、単元全体や1単位時間での手立ての工夫、教材分析のためのシート開発など、様々な手立てを取り入れることで、子どもの主体性と協働性を高める授業づくりをしてきた成果と課題について発表します。
3	坂出市立加茂小学校
	【研究主題】 他者と関わりながら楽しさを感じ、個が高まる学びづくり 児童自らのよさを認めながら他者と主体的に関わり、目を輝かせながら問題解決を進めていける学習活動を目指しています。そのために、個を生かした縦割り班活動や「いいかもね★コーナー」の充実、自己調整しながら学びを深めるプロセスを大切にした授業づくりを進めています。実際の子どもの姿を基に、これまでの研究の成果と課題について紹介します。
4	観音寺市立大野原小学校
	【研究主題】 共に分かち合い、生き生きと自己表出する児童の育成 ～個の可能性を引き出す授業づくりを通して～ 児童がより学びたくなるようなしかけを行うことで、個の可能性を引き出す授業づくりを目指しています。本年度は特に「児童主体の学習課題」、「自己選択・自己決定」をキーワードに研究実践を積み重ねました。本発表会では、児童が主体的に学びに向かい、生き生きと自己表出するための教師の手立てと、児童に委ねることを意識した授業展開について、その具体を、模擬授業を行いながら発表します。
5	観音寺市立大野原中学校
	【研究主題】 「ときめき」のある授業づくり ～主体的に学ぶ生徒を育てる～ 学びに向かう関心や意欲を高め、心が動く授業づくりを目指して、課題設定や協働的な学びの充実などを図るためにまとめたポイント「教える巧みな技」を基に、授業改善を進めています。また、生徒の学びの姿をもとに、教員が授業実践をまとめた「学びのときめきシート」を活用した授業分析や校内研修の在り方など、これまでの研究の成果と課題について紹介します。

○「読解力」向上推進モデル校事業

「確かな学力」の基盤となる「読解力」を、各教科、各学年においてどのように高めていくのか、各教科、各学年の実践を通して、その方策について研究推進しています。

6	まんのう町立高篠小学校
	【研究主題】主体的に考え、行動する児童の育成 ー「テキストを理解し、利用し、熟考する」、教師の「しかけ作り」ー 「読解力」を「課題解決のために集められた情報に示されたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」と捉え、様々な教科において、「読解力」を高める授業を目指しています。授業づくりの際には、子どもたちの学びを「見通しー行動ー振り返り」の三つの場面に分けて、それぞれの場面で、教師の「しかけ作り」を行いました。本発表会では、「読解力」向上のために、どのような「しかけ作り」が効果的だったか等、その成果と課題を発表します。

○外国語教育推進モデル校におけるオンライン国際交流推進事業

海外の同年代の子どもと、英語でやり取りをするオンライン国際交流を実施しました。言語活動の充実と、言語活動を通じた指導の工夫について研究を進めています。

7	直島町立直島中学校
	【研究テーマ】「コミュニケーション能力と豊かな国際感覚の育成」 ～ 即興性のあるやり取りとICTを活用したペア・グループ活動の実践を通して ～ 音声と文字を関連付けた指導、即興的なやり取りを続けるための指導の工夫について研究実践を積み重ねました。「話すこと」と「書くこと」の力を高める領域を統合した活動や、やり取りを続けるための相手を想定した対話活動の実践について紹介します。
8	丸亀市立飯山中学校
	【研究テーマ】「やり取り」・「即興性」を意識した言語活動及び生徒の学習意欲を高める指導の在り方の工夫 生徒の課題意識を丁寧に見取る中で見えてきた生徒の成長目標を踏まえ、「聞く力」を高めるとともに、会話を「つなぎ・深める」ことをめざした授業づくりを行っています。これらの実践に加え、相手意識をもったやり取りの工夫や重要性についても発表します。

○幼・小連携実践研究事業

小学校教員が就学前教育施設における研修を通じて、幼児期から児童期への長期的な視点で子どもの発達を捉え、就学前教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取り組みをしています。

9	さぬき市立寒川幼稚園
	【研究主題】「架け橋期」の教育充実のための幼・小連携の在り方を探る 小学校教員が幼稚園での研修を通して、幼児期から児童期への長期的な視点で子どもの発達を捉え、学びの連続性を確保するためのそれぞれの時期に応じた教育内容や指導方法の在り方を探っています。今年度は幼稚園での研修の1年目として、「幼児が、いつ、何を、どのように学んでいるのか」に焦点をあて、実践者の気付きや学びを発表します。

○明日も行きたくなる学校づくりプロジェクト事業

いじめの未然防止教育を中心とした「絆づくり」と「居場所づくり」の取り組みによる「いじめのない学校づくり」「魅力ある学校づくり」「安全・安心の学校づくり」を推進することで、児童生徒が「明日も行きたくなる学校」を実現することを目指します。

10	高松市立牟礼南小学校
	「どんどん前向きになる環境づくり」をテーマに、「学びがある」「人とつながれる」「挑戦できる」「笑顔になれる」環境づくりを目指した、児童主体の取り組みについて発表します。

11	さぬき市立長尾小学校
	「子どもが主語となる魅力ある学校を目指して」をテーマに、学校独自の「明日も行きたくなる学校とは？」のアンケート結果をもとにした、児童会が中心となった、子ども主体のよりよい学校づくりに向けた取組みについて発表します。
12	三豊市立山本小学校
	「『チーム山本』で取り組む、安心して過ごせる環境づくり」をテーマに、児童会を中心としたいじめの未然防止や、縦割り班活動を基盤に全校生がつながる学校づくりに向けた取組みについて発表します。
13	観音寺市立観音寺中学校
	「主体的に取組み、学び合い高め合う生徒の育成～ すべての生徒が安心して学べる学校づくりを目指して～」のテーマのもと、生徒会活動の重点化・焦点化の工夫と各常任委員会の取組みを統合した活動等について、その内容と成果等を発表します。

○校内サポートルーム（KSR）研究指定校事業

空き教室を利用し、教室とは異なる雰囲気 of 校内サポートルームを開設することを通して、不登校傾向の児童生徒の社会的な自立に向けた有効な取組みについて研究を行っています。環境や居場所づくり、学習保障や協働体制の在り方、SCや家庭との連携など、個別最適な学習機会を確保し、多様で適切な自らの学びの選択肢を増やすことにつなぐための取組みを各校で行っています。

14	高松市立栗林小学校
	学力と社会性を育むために、個別の学習支援となかまづくり支援を並行して行う効果的な不登校支援について発表します。
15	高松市立太田小学校
	不登校傾向の児童生徒の社会的な自立に向けて、効果的な不登校支援の在り方・環境づくりについて発表します。
16	さぬき市立志度小学校
	教室に入れない児童のKSR利用による変容と学級との関連や中学校進学に向けての持続的な支援と進学後の居場所づくりについて発表します。
17	東かがわ市立引田小学校
	学校に来られない児童と学校がつながりを持続させ、再登校への意欲を持たせるための環境及び校内体制の在り方について発表します。
18	坂出市立坂出小学校
	教室に入れない不登校傾向の児童生徒の自己指導能力の育成に向けて、効果的な不登校支援について発表します。
19	丸亀市立飯山北小学校
	児童一人ひとりが安心できる居場所の確保と個の思いに寄り添った支援体制の構築に向けて発表します。
20	高松市立桜町中学校
	不登校（傾向を含む）生徒の社会的な自立に向け、安心できる居場所づくりと、多様な学びの支援について発表します。
21	観音寺市立豊浜中学校
	不登校傾向等の生徒の社会的な自立に向けて、安心・安全な居場所における個に応じた柔軟な対応や支援の在り方について発表します。
22	三豊市立三野津中学校
	専門家の助言を取り入れながら小中が連携し、医療福祉などの関係機関とともに共通理解を図りながら、問題解決に生かすことができるKSRの在り方について発表します。

○自殺予防教育推進事業

香川県教育委員会が行っている「いのちのせんせい」派遣事業に、令和6年度に文部科学省が作成した「自殺予防教育」の教材等を関連付け、自殺予防教育の普及を図っています。

○NEXT GIGA研究委託事業

児童生徒1人1台端末の更新等が進む機会を、新たな時代にふさわしい教育の実現をめざす「NEXT GIGA」と位置付け、クラウドツール等の「デジタル学習基盤」を最大限活用した、学びや校務のDXを推進しています。

23	多度津町立多度津小学校
	【研究主題】ICTを有効活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ～認知能力と非認知能力を育成するための教育DXの在り方～ 児童の自ら学び続ける力を育むために、教科等の年間計画を見直し、児童が自ら学習サイクルを回す「自己調整学習」を計画的に実践しています。また、自己調整学習で獲得した学習サイクルを活用し、「探究的な学習」を実践するためのカリキュラムも作成しています。本発表会では、具体的な授業実践や、それらを支える「ICTスキルや情報活用能力」の育成に向けた取組などについて発表します。
24	多度津町立多度津中学校
	【研究主題】学びの成果を実感できる生徒主体の授業づくり ～生徒に委ね、指導性を発揮する教師を目指して～ 生徒の主体性を育むために、「生徒に委ねた授業づくり」や、その際の教師の指導性について研究しています。また、授業づくりの基盤として、特に「振り返り」の場面を重視したり、「汎用的アプリや生成AI」を活用したりすることも、部会を設けて推進しています。本発表会では、それらの視点に基づいた具体的な授業実践や、校務でのICT・生成AI活用等を含めた学校全体のDXについて発表します。

○社会に開かれた学校教育創造事業

民間事業者のノウハウや活力を活用して長期休業中の講座や土曜講座などを開設し、学校のカリキュラム外で、知的好奇心を刺激する複数のテーマによる講座等を継続的に実施し、モデル校においてその効果の実証研究を推進することをおして、民間と連携し、地域全体で子どもたちの新たな学びの場の確保に向けたモデルケースの構築を目指しています。

25	公益社団法人全国学習塾協会
	民間の教育事業者として、様々な子供たちに向き合う中で、基礎的な英単語力や計算力、そして漢字や熟語などの未習得、また知的好奇心をかき立てる事柄の未体験などが、学習意欲を削ぐ要因の一つではないかと考えました。そこで、単語力を身につける講座や、算数パズルによる試行錯誤を通じてチャレンジする態度や集中力を養う講座、国語力の向上を目指す講座、理科実験やAIなどで知的好奇心を刺激する講座等を開設しました。本発表会では、全10講座のうち、特徴的かつ基礎的な3分野（計6講座）についての取組概要や成果等を発表します。

○自主発表

26	三豊市立豊中幼稚園
	【研究主題】「やってみたい！」生き生きと遊ぶ子どもを育む ～チームでの語り合いを通して～ 本園では、生き生きと遊ぶ子どもを育むことを目指して、職員がつながり合い語り合うことを大切にしながら、職員研修の内容や方法の在り方を探ってきました。大規模園ならではの強みを生かし、研修内容に応じた様々なチームで語り合うことを通して得られた子ども理解の深まり、環境構成や援助の在り方などについての成果と課題を発表します。

27	高松市立川東小学校
	【研究主題】教える学校から、共に探究する学校へ ～探究的な学びを中核に据えた学校文化創造の取り組み～ 本校は、探究的な学習を中核に据えた教育の創造に取り組んできました。生活科・総合的な学習の時間では、地域と連携したリアルな課題解決型の学習を展開し、各教科では教科等横断的な学びを通して、学びの本質に迫る実践を進めてきました。こうした取り組みを重ねる中で、学校全体が“教える学校”から“共に探究する学校”へと変革してきました。この変革の基盤となったのは、不断の教育課程の改善、地域学校協働活動の推進、そして長期にわたる個人追究の実践です。本発表会では、探究的な学習の具体的な実践とその成果、ならびに学校文化の変容をもたらしたプロセスについて報告いたします。
28	坂出市立東部中学校
	【研究主題】誰一人取り残さない特別支援教育の充実 ～共に学び 共に高め合うための合理的配慮のあり方～ 「あい」のある集団づくりを基盤とした、誰一人取り残さない学校をめざしています。一人ひとりが抱えている困り感を適切な支援によって取り除き、すべての生徒が同じ景色を見ながら取組める「分かる授業」づくりに挑戦しました。本発表会では、一人ひとりに適切な合理的配慮とは何かを考えた授業実践について発表します。
29	香川大学教育学部附属高松小学校
	【研究主題】分かち合い、共に未来を切り拓く子どもの育成 ～知や価値を創造する新たなカリキュラムの可能性と子どもの育ち～ 新しい知や価値を創造するためには、子ども一人一人に確かな経験が必要です。何もないところからは、新たに生み出されるものではありません。しかし、現代の子どもは多様で共通経験に偏りが大きく、教科学習に生かせる考えや、価値に昇華することに困難さを抱えています。カリキュラムにおいて、どのような考えや思いをつくり、新たな知や価値を創造していくのかを具体的な活動や授業展開を示しながら、子ども一人一人の成長を語ります。
30	香川大学教職大学院
	【研究主題】フォローアップ・プログラム発表 香川大学教職大学院では、「理論と実践の往還」を重視し、「学び続ける教員」の育成を目指しています。短期履修学生制度で学んだ院生は、修了後も学校現場での実践を深める「フォローアップ・プログラム」に参加しています。例年、その成果を「香川の教育づくり発表会」で発表しており、発表者のテーマは教職大学院HPに掲載しています。当日は、ポスター発表をご自由にご覧いただき、発表者との交流を通じて、現場での実践や学びの広がりをご体感ください。

31	教育実践優秀教員
	学校教育において積極的に教育実践に取り組み、顕著な成果をあげている教員を表彰し、その功績に報いるとともに、その成果の普及を図ることを目的として、平成15年度から「教育実践優秀表彰制度」を導入しています。令和7年度教育実践優秀教員の実践内容を直接お伝えします。

○総合授業リーダー事業	
香川県を代表する先生方が、主体的・対話的で深い学びの実現のために、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実の視点で公開授業を行いました。全体会において、県が掲げる4つの視点に合わせて、実践内容の発表を行います。	